

調査結果の概要

〔 1 〕 学校調査

1 小学校

(1) 学校数は379校（国立1校、公立377校、私立1校）で、前年度より公立が4校減少している。

表1 設置者別学校数(小学校) (単位:校)

区 分	計	国 立	公 立			私 立
			計	本 校	分 校	
平成9年度	401	1	399	373	26	1
平成10年度	398	1	396	371	25	1
平成11年度	396	1	394	369	25	1
平成12年度	395	1	393	368	25	1
平成13年度	391	1	389	367	22	1
平成14年度	390	1	388	366	22	1
平成15年度	383	1	381	359	22	1
平成16年度	379	1	377	356	21	1

(2) 学級数は3,060学級で、前年度より19学級増加している。

学級種別で見ると、単式学級が2,687学級、複式学級が188学級、75条の学級が185学級で、前年度よりそれぞれ13学級の増加、1学級の増加、5学級の増加となっている。また、75条の学級の全体に占める割合は6.0%で、前年度より0.1ポイント上昇している。

1校当たりの学級数は8.1学級で、前年度より0.2学級増加している。

表2 学級数(小学校) (単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	75条の学級	75条の学級に占める割合 (%)	1校当たりの学級数
平成9年度	3,388	3,026	171	191	5.6	8.4
平成10年度	3,300	2,929	183	188	5.7	8.3
平成11年度	3,223	2,858	180	185	5.7	8.1
平成12年度	3,167	2,794	188	185	5.8	8.0
平成13年度	3,115	2,746	187	182	5.8	8.0
平成14年度	3,080	2,703	198	179	5.8	7.9
平成15年度	3,041	2,674	187	180	5.9	7.9
平成16年度	3,060	2,687	188	185	6.0	8.1

(3) 児童数は69,264人(男子35,504人、女子33,760人)で、前年度より646人減少し、昭和58年度以降毎年減少が続いている。

1学級当たりの児童数は22.6人で、前年度より0.4人減少している。

平成15年度間に30日以上欠席した児童は526人で、前年度間より29人減少した。

長期欠席率は0.75%で、前年度間より0.04ポイント低下した。理由別では多い方から病気262人(49.8%)、不登校212人(40.3%)、その他52人(9.9%)、経済的理由0人(0%)で、前年度間よりそれぞれ3人の増加、16人の減少、11人の減少、5人の減少となった。

表3 学年別児童数、遠距離通学者数(小学校)

(単位:人)

区 分	学 年 別 児 童 数							遠 距 離 通 学 者 数 (公立のみ)
	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
平成9年度	79,300	11,955	12,417	12,909	13,403	14,066	14,550	1,940
平成10年度	76,778	11,931	11,948	12,446	12,931	13,431	14,091	1,748
平成11年度	74,473	11,671	11,972	11,952	12,478	12,941	13,459	1,585
平成12年度	72,621	11,591	11,680	11,976	11,949	12,503	12,922	……
平成13年度	71,795	12,040	11,610	11,698	11,988	11,944	12,515	……
平成14年度	70,513	11,255	12,042	11,597	11,712	11,954	11,953	……
平成15年度	69,910	11,414	11,253	12,022	11,591	11,694	11,936	……
平成16年度	69,264	11,292	11,421	11,258	12,032	11,596	11,665	……

(※)平成12年度調査より「遠距離通学者数(公立のみ)」の調査が削除された。

表4 長期欠席者数(小学校)

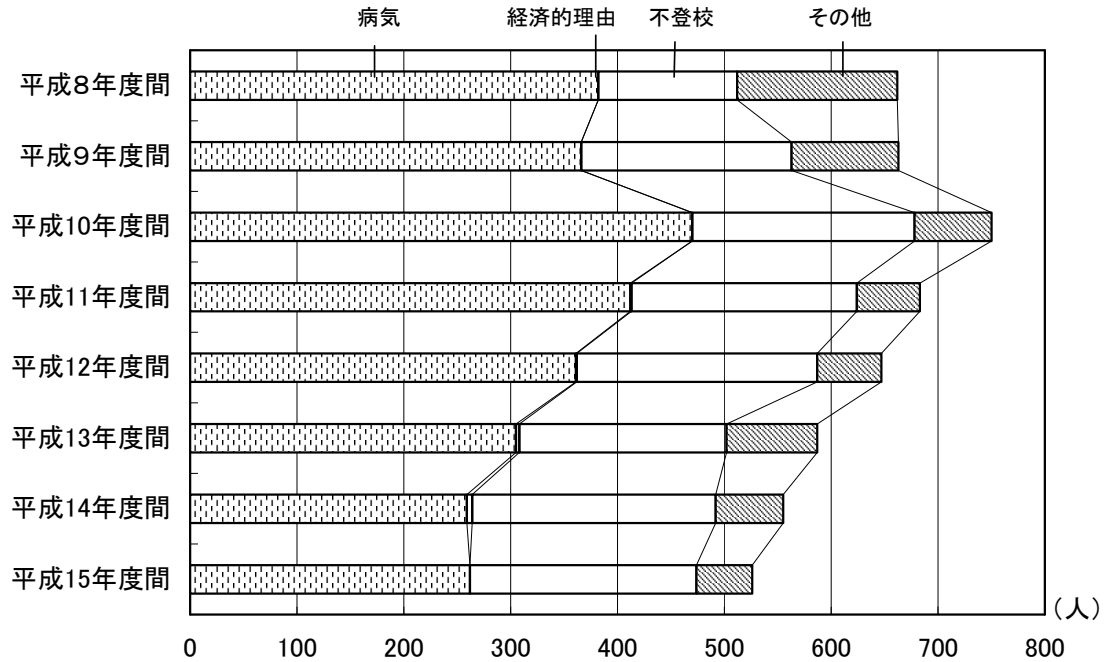
(単位:人)

区 分	30日以上欠席者						50日以上欠席者(再掲)(※2)					
	計	病 気	経済的 理 由	不登校 (※1)	その他	長 期 欠 席 率 (%)	計	病 気	経済的 理 由	不登校 (※1)	その他	長 期 欠 席 率 (%)
平成8年度間	662	382	-	130	150	0.80	326	125	-	97	104	0.40
平成9年度間	663	366	-	197	100	0.84	310	118	-	134	58	0.39
平成10年度間	750	470	-	208	72	0.98	343	127	-	164	52	0.45
平成11年度間	683	412	1	211	59	0.92	…	…	…	…	…	…
平成12年度間	647	361	1	225	60	0.89	…	…	…	…	…	…
平成13年度間	587	305	3	194	85	0.82	…	…	…	…	…	…
平成14年度間	555	259	5	228	63	0.79	…	…	…	…	…	…
平成15年度間	526	262	-	212	52	0.75	…	…	…	…	…	…

(※1)「不登校」は平成9年度間までは「学校ぎらい」。

(※2)平成12年度調査より「50日以上欠席者(再掲)」の調査が削除された。

図1 長期欠席者数(小学校)(30日以上)



(4) 教員数(本務者)は4,875人(男子1,778人、女子3,097人)で、前年度より95人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は38人減少し、女子教員は57人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員36.5%、女子教員63.5%で、昭和56年度以降連続して女子教員が男子教員を上回っている。
本務教員1人当たりの児童数は14.2人で、前年度より0.1人増加している。

表5 教員数(本務者)(小学校) (単位:人)

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成9年度	5,293	2,082	3,211	24	5,257	12
平成10年度	5,192	2,010	3,182	24	5,157	11
平成11年度	5,092	1,974	3,118	24	5,059	9
平成12年度	5,012	1,917	3,095	24	4,980	8
平成13年度	4,949	1,859	3,090	24	4,917	8
平成14年度	4,954	1,841	3,113	24	4,922	8
平成15年度	4,970	1,816	3,154	24	4,938	8
平成16年度	4,875	1,778	3,097	24	4,841	10

2 中学校

(1) 学校数は151校（国立1校、公立146校、私立4校）で、前年度と同数である。

表6 設置者別学校数(中学校) (単位:校)

区 分	計	国 立	公 立	私 立
平成9年度	163	1	158	4
平成10年度	163	1	158	4
平成11年度	164	1	158	5
平成12年度	162	1	156	5
平成13年度	158	1	153	4
平成14年度	155	1	150	4
平成15年度	151	1	146	4
平成16年度	151	1	146	4

(2) 学級数は1,207学級で、前年度より30学級減少している。

学級種別で見ると、単式学級が1,130学級、75条の学級が77学級で、前年度よりそれぞれ27学級の減少、3学級の減少となっている。また、75条の学級の全体に占める割合は6.4%で、前年度より0.1ポイント減少している。

1校当たりの学級数は8.0学級で、前年度より0.2学級減少している。

なお、複式学級は、昭和49年度から該当なしとなっている。

表7 学級数(中学校) (単位:学級)

区 分	計	単式学級	複式学級	75条の学級	75条の学級の占める割合(%)	1校当たりの学級数
平成9年度	1,469	1,397	-	72	4.9	9.0
平成10年度	1,449	1,374	-	75	5.2	8.9
平成11年度	1,416	1,338	-	78	5.5	8.6
平成12年度	1,379	1,301	-	78	5.7	8.5
平成13年度	1,329	1,249	-	80	6.0	8.4
平成14年度	1,284	1,200	-	84	6.5	8.3
平成15年度	1,237	1,157	-	80	6.5	8.2
平成16年度	1,207	1,130	-	77	6.4	8.0

(3) 生徒数は36,148人(男子18,525人、女子17,623人)で、前年度より1,039人減少し、昭和63年度以降毎年減少が続いている。

1学級当たりの生徒数は29.9人で、前年度より0.2人減少している。

平成15年度間に30日以上欠席した生徒は1,188人で、前年度間より111人減少した。長期欠席率は3.19%で、前年度間より0.17ポイント低下した。理由別では多い方から、不登校949人(79.9%)、病気188人(15.8%)、その他45人(3.8%)、経済的理由6人(0.5%)で、前年度間よりそれぞれ79人の減少、19人の減少、14人の減少、1人の増加となった。

表8 学年別生徒数、遠距離通学者数(中学校) (単位:人)

区 分	学 年 別 生 徒 数				遠 距 離 通 学 者 数 (公立のみ)
	計	1学年	2学年	3学年	
平成9年度	46,189	15,069	15,398	15,722	2,020
平成10年度	45,052	14,584	15,079	15,389	1,868
平成11年度	43,726	14,069	14,600	15,057	1,766
平成12年度	42,072	13,423	14,055	14,594
平成13年度	40,312	12,859	13,405	14,048
平成14年度	38,682	12,426	12,866	13,390
平成15年度	37,187	11,900	12,424	12,863
平成16年度	36,148	11,887	11,865	12,396

(※)平成12年度調査より「遠距離通学者数(公立のみ)」の調査が削除された。

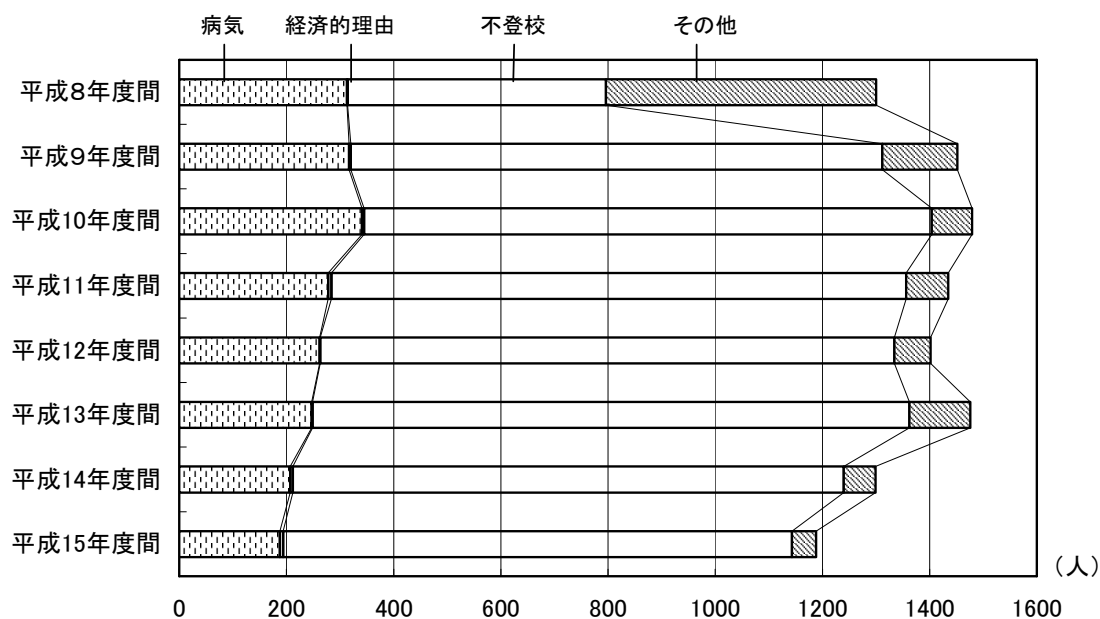
表9 長期欠席者数(中学校) (単位:人)

区 分	30日以上欠席者						50日以上欠席者(再掲)(※2)					
	計	病 気	経済的 理 由	不登校 (※1)	その他	長 期 欠 席 率 (%)	計	病 気	経済的 理 由	不登校 (※1)	その他	長 期 欠 席 率 (%)
平成8年度間	1,300	313	1	482	504	2.78	953	169	1	398	385	2.04
平成9年度間	1,452	317	3	992	140	3.14	1,073	151	2	810	110	2.32
平成10年度間	1,479	341	4	1,059	75	3.28	1,049	145	4	854	46	2.33
平成11年度間	1,435	278	6	1,072	79	3.28
平成12年度間	1,402	262	1	1,071	68	3.33
平成13年度間	1,476	247	2	1,113	114	3.66
平成14年度間	1,299	207	5	1,028	59	3.36
平成15年度間	1,188	188	6	949	45	3.19

(※1)「不登校」は平成9年度間までは「学校ざらい」。

(※2)平成12年度調査より「50日以上欠席者(再掲)」の調査が削除された。

図2 長期欠席者数(中学校)(30日以上)



(4) 教員数(本務者)は2,818人(男子1,689人、女子1,129人)で、前年度より50人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は46人減少し、女子教員は4人減少している。また、男女別の構成比は、男子教員59.9%、女子教員40.1%となっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.8人で、前年度より0.2人減少している。

表10 教員数(本務者)(中学校)

(単位:人)

区分	計	男	女	国立	公立	私立
平成9年度	3,217	1,970	1,247	22	3,171	24
平成10年度	3,162	1,933	1,229	22	3,118	22
平成11年度	3,129	1,903	1,226	22	3,083	24
平成12年度	3,060	1,856	1,204	22	3,014	24
平成13年度	2,981	1,808	1,173	22	2,933	26
平成14年度	2,933	1,769	1,164	22	2,886	25
平成15年度	2,868	1,735	1,133	21	2,822	25
平成16年度	2,818	1,689	1,129	21	2,769	28

3 高等学校

(1) 学校数は69校（公立55校、私立14校）で、前年度と同数である。

学校数を課程別にみると、全日制63校、定時制1校、全日制・定時制併置校5校となっている。

また、本校分校別にみると、本校68校、分校1校となっている。

なお、公立のうち市立は1校で、他はすべて県立である。

表11 学校数(高等学校)

(単位:校)

区 分	計	公 立			私 立	
		計	全日制	定時制	併置	全日制
平成9年度	77	61	54	1	6	16
平成10年度	77	61	54	1	6	16
平成11年度	78	61	54	1	6	17
平成12年度	78	61	54	1	6	17
平成13年度	75	61	54	1	6	14
平成14年度	71	57	50	1	6	14
平成15年度	69	55	48	1	6	14
平成16年度	69	55	49	1	5	14

(2) 学科数(本科)は109学科(普通科44、商業科14、工業科14、農業科8、看護科8、家庭科6、総合学科4、福祉科3、水産科1、その他7)で、前年度より2学科減少している。また、専攻科は4学科で、うち工業科1、水産科1、看護科2となっている。

本科のうち全学科に占める割合は、普通科が40.4%と最も高く、以下商業科と工業科の12.8%の順となっている。

図3 学科数(本科)の構成比
(高等学校)

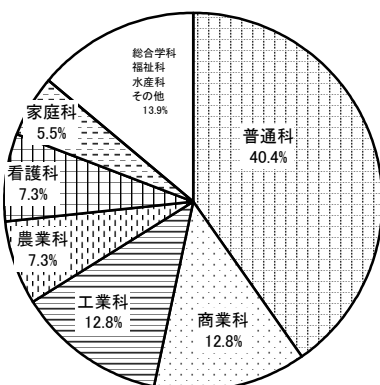
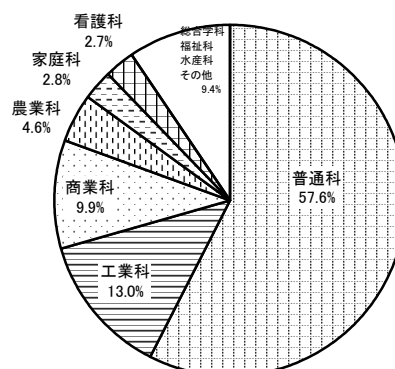


図4 学科別生徒数の構成比
(高等学校)



(3) 生徒数は 39,586人 (男子20,229人うち専攻科102人、女子19,357人うち専攻科232人) で、前年度より1,521人減少している。

学科別にみると、普通科22,795人 (57.6%)、工業科5,137人 (13.0%)、商業科3,931人 (9.9%) の順となっている。

表12 学科別生徒数(高等学校)

(単位:人)

区 分	計	普通	農業	工業	うち		商業	水産	うち		家庭	看護	うち		福祉	総合	その他
					専攻	専攻			専攻	専攻							
平成9年度	49,217	29,696	2,175	6,493	48	6,342	338	13	1,517	1,425	250	…	599	632			
平成10年度	47,275	28,362	2,123	6,238	64	5,679	340	14	1,416	1,342	257	…	992	783			
平成11年度	46,007	27,552	2,061	6,075	71	5,137	338	11	1,288	1,253	257	…	1,388	915			
平成12年度	45,237	27,283	2,005	5,907	73	4,752	358	7	1,185	1,140	255	…	1,652	955			
平成13年度	43,875	26,447	1,912	5,641	63	4,511	351	9	1,106	1,065	257	…	1,883	959			
平成14年度	42,518	25,443	1,931	5,421	69	4,313	321	13	1,099	1,062	256	…	1,871	1,057			
平成15年度	41,107	24,041	1,885	5,290	83	4,174	300	13	1,133	1,077	254	189	2,052	966			
平成16年度	39,586	22,795	1,804	5,137	84	3,931	232	9	1,103	1,088	241	393	2,250	853			

(4) 教員数(本務者)は3,063人(男子2,179人、女子884人)で、前年度より64人減少している。男女別にみると、前年度より男子教員は61人減少し、女子教員は3人減少している。また、男女別の構成比は、男子71.1%、女子28.9%となっている。

設置者別にみると、公立2,443人(79.8%)、私立620人(20.2%)となっている。

表13 教員数(本務者)(高等学校)

(単位:人)

区 分	計	公 立			私 立		
		計	男	女	計	男	女
平成9年度	3,567	2,862	2,201	661	705	481	224
平成10年度	3,527	2,829	2,151	678	698	470	228
平成11年度	3,453	2,783	2,112	671	670	448	222
平成12年度	3,410	2,754	2,064	690	656	439	217
平成13年度	3,358	2,711	2,003	708	647	438	209
平成14年度	3,224	2,582	1,889	693	642	432	210
平成15年度	3,127	2,498	1,819	679	629	421	208
平成16年度	3,063	2,443	1,758	685	620	421	199

4 盲・聾・養護学校

- (1) 学校数は、盲学校1校、聾学校1校、養護学校14校で、前年度と同数である。
設置者別にみると、盲学校、聾学校はいずれも県立で、養護学校は国立1校、県立13校となっている。
- (2) 在学者数は、盲学校39人、聾学校53人、養護学校903人で、前年度よりそれぞれ1人の減少、1人の減少、59人の増加となっている。
養護学校を障害種類別にみると、知的障害475人、知的障害と肢体不自由184人、知的障害と病弱35人、病弱29人、肢体不自由26人、肢体不自由と病弱11、その他143人となっている。
- (3) 学級数は、盲学校20学級、聾学校22学級、養護学校306学級で、前年度よりそれぞれ3学級の増加、2学級の増加、17学級の増加となっている。
- (4) 教員数（本務者）は、盲学校54人、聾学校57人、養護学校724人で、前年度よりそれぞれ5人の増加、1人の増加、30人の増加となっている。
- (5) 通学状況についてみると、盲学校では、家庭から通学している者が19人、寄宿舎から15人、児童福祉施設から5人となっている。
聾学校では、家庭から30人、児童福祉施設から13人、寄宿舎から10人となっている。
養護学校では、家庭から622人、児童福祉施設から209人、国立療養所重心病棟から26人、寄宿舎から19人、その他の医療機関から27人となっている。

表14 盲・聾・養護学校の状況

(単位:人)

区 分	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	在学者数	教員数	学校数	在学者数	教員数	学校数	在学者数	教員数
平成9年度	1	38	46	1	46	58	14	766	634
平成10年度	1	36	45	1	46	49	14	740	649
平成11年度	1	42	45	1	45	52	14	753	677
平成12年度	1	44	48	1	47	52	14	752	652
平成13年度	1	43	44	1	53	52	14	769	652
平成14年度	1	43	51	1	53	60	14	805	690
平成15年度	1	40	49	1	54	56	14	844	694
平成16年度	1	39	54	1	53	57	14	903	724

5 幼稚園

(1) 幼稚園数は261園（国立1園、公立186園、私立74園）で、前年度より公立が1園、私立が1園、計2園減少している。

私立幼稚園について設置者別構成をみると、学校法人立67園（90.5%）、個人立4園（5.4%）、宗教法人立3園（4.1%）となっている。

(2) 学級数は663学級で、前年度より9学級減少している。編制方式別にみると、5歳児のみの学級が313学級で最も多く、次いで4歳児のみの学級173学級、3歳児のみの学級111学級の順となっている。

(3) 園児数は13,353人（男子6,784人、女子6,569人）で、前年度より265人減少している。

年齢別では、5歳が6,871人（51.5%）で最も多い。

また、設置者別園児数は、私立8,418人（63.0%）、公立4,775人（35.8%）、国立160人（1.2%）となっており、昭和62年度から連続して私立が国・公立の園児数を上回っている。

(4) 教員数（本務者、但し教育補助員は除く）は992人（男子56人、女子936人）で、前年度より6人増加している。本務教員1人当たりの園児数は13.5人で、前年度より0.3人減少している。

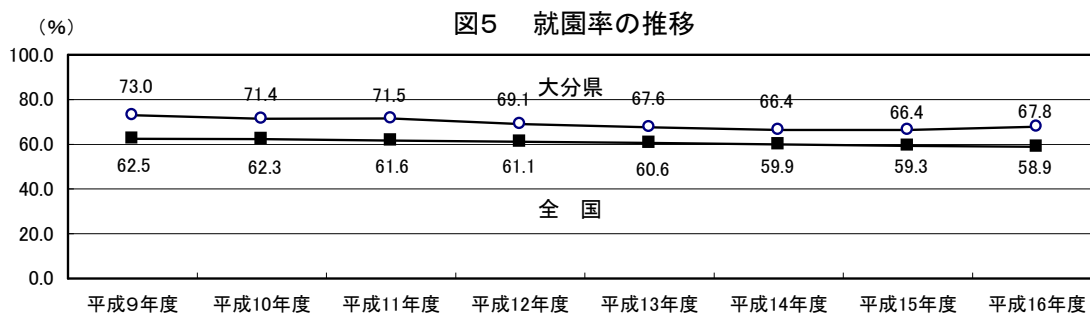
(5) 就園率は67.8%で、前年度より1.4ポイント上昇している。全国平均は58.9%となっており、前年度より0.4ポイント低下している。

表15 幼稚園の状況

(単位:園、学級、人)

区 分	園 数				学級数	園 児 数				前年度 終了者 数
	計	国立	公立	私立		計	3歳	4歳	5歳	
平成9年度	276	1	202	73	697	15,345	2,217	4,787	8,341	8,724
平成10年度	277	1	203	73	689	14,978	2,301	4,609	8,068	8,517
平成11年度	276	1	202	73	686	14,740	2,120	4,717	7,903	8,348
平成12年度	275	1	200	74	681	14,640	2,272	4,304	8,064	8,010
平成13年度	273	1	197	75	687	14,225	2,263	4,507	7,455	8,139
平成14年度	266	1	190	75	687	14,127	2,213	4,407	7,507	7,471
平成15年度	263	1	187	75	672	13,618	2,209	4,132	7,277	7,578
平成16年度	261	1	186	74	663	13,353	2,279	4,203	6,871	7,652

(学級数は0人の学級を含む)



6 専修学校・各種学校

(1) 学校数は、専修学校が41校、各種学校が25校で、前年度より専修学校では1校増加し、各種学校は前年度と同数である。設置者別にみると、専修学校が公立1校、私立40校で、各種学校が公立2校、私立23校となっている。

(2) 生徒数は、専修学校は5,308人（公立131人、私立5,177人）で、前年度より132人減少し、各種学校は2,623人（公立456人、私立2,167人）で、前年度より26人減少している。男女別にみると、専修学校は男子2,231人、女子3,077人、各種学校は男子1,406人、女子1,217人となっている。

専修学校を学科別にみると、医療関係2,678人（50.5%）、工業関係859人（16.2%）の順となっている。各種学校を課程別にみると、その他（全員自動車操縦）1,906人（72.7%）、文化教養関係248人（9.5%）の順となっている。

(3) 教員数（本務者）は、専修学校が368人（男子146人、女子222人）で、前年度より9人増加し、各種学校は210人（男子192人、女子18人）で、前年度より4人増加している。

表16 学科別生徒数(専修学校)

(単位:人)

区分	合計	工業関係	農業関係	医療関係	衛生関係	教育社会福祉関係	商業実務関係	服飾家政関係	文化教養関係
15年度	5,440	869	-	2,632	492	344	179	285	639
16年度	5,308	859	-	2,678	483	327	180	263	518

表17 課程別生徒数(各種学校)

(単位:人)

区分	合計	工業関係	農業関係	医療関係	衛生関係	教育社会福祉関係	商業実務関係	家政関係	文化教養関係	その他
15年度	2,649	67	-	95	17	-	249	101	244	1,876
16年度	2,623	56	-	88	15	-	217	93	248	1,906

〔2〕 不就学学齢児童生徒調査

(1) 平成16年4月1日に学齢（6歳～14歳）に達している者のうち、平成16年5月1日現在で就学していない者の数は4人（男子2人、女子2人）で、前年度より5人減少している。就学していない者のうち、就学免除者は1人（女子1人）、就学猶予者は3人（男子2人、女子1人）となっている。

就学免除者、就学猶予者をそれぞれ理由別にみると、就学免除者は病弱・虚弱1人、就学猶予者は児童自立支援施設又は少年院にいるため2人、盲1人となっている。

(2) 学齢児童生徒死亡者数（平成15年度間）は4人で、前年度間（平成14年度間）より1人減少した。